

[成果情報名] ミディトマトの半促成および抑制栽培における有望品種

[要約] ミディトマトの有望品種は、食味、収量、果実の大きさなどの面から、半促成栽培および抑制栽培ともに「華クイン R」である。

[キーワード] ミディトマト、品種選定、華クイン R、半促成栽培、抑制栽培

[担当] 山梨県総合農業試験場・栽培部・野菜科

[連絡先] 電話 0551-28-2496、電子メール sougonoshi@pref.yamanashi.lg.jp

[区分] 関東東海北陸農業・野菜

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

近年、本県においても施設トマト栽培を中心にミディトマトが導入されている。各種苗会社からは新品種が販売されてきているが、本県における各品種の栽培適性は把握されていない。

そこで、ミディトマトの半促成および抑制栽培の作型における栽培適性を明らかにし、本県に適した品種の選定を行う。

[成果の内容・特徴]

ミディトマト 6 品種を供試し、生育、収量、果実品質などの面から検討を行った。

その結果、「華クイン R」は、ミディトマトの特徴である食味の良さ、草勢、良果収量、果実の大きさ、果実の熟期などの点で最もバランスが良く、本県の半促成および抑制栽培の両作型で最も適した品種と考えられ、次のような特性を持っている。

1. 草丈は低く株はコンパクトである（表 1）。
2. 良果収量は 530～540kg/a 程度で着果数が多く、良果率も 95% 前後である（表 1）。
3. 1 果重は 35～40 g 程であり、県内の出荷規格において L,LL サイズに相当する 1 果 30～59 g の果実が良果収量に占める割合は 75% 程度である（表 1、図 1）。
4. 他の品種と比較し果実の熟期が早く、一定の期間でより多くの段数の収穫が可能である（表 1）。
5. 食味は半促成、抑制栽培とも安定して評価が高く、糖度は 7% 以上である（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 「華クイン R」は TMV(Tm-2a)に抵抗性があり、接ぎ木（台木品種：がんばる根）されたセル苗での販売となっている。
2. 「華クイン R」は栄養繁殖の苗であるため低い節位から花房が着生するが、本葉 5 枚以下に着生した花房は摘花する。
3. 糖度を高くする方法の一つとしてかん水量の制限が有効であるが、1 果重は少なくなるので留意する。

[具体的データ]

表1 ミディトマト6品種の生育および収量特性

品種	草丈(cm)		良果収量(kg/a)		良果率(%)		良果1果重(g/個)		良果の収量割合(%) ^{y)}
	半促成 ^{z)}	抑制 ^{z)}	半促成	抑制	半促成	抑制	半促成	抑制	
華クインR	134.5	168.9	532	541	96	93	40.1	35.0	92
ルイ40	154.2	178.4	426	499	91	92	35.0	31.8	87
ルイ60	149.6	177.0	565	696	86	91	52.0	51.7	75
レッドオーレ	133.9	170.8	437	565	78	92	37.0	39.1	78
鈴姫	148.0	180.6	498	629	89	96	42.1	43.8	73
シンディースイート	148.1	190.7	473	526	91	97	38.3	35.8	93

z) 半促成栽培のデータは2004年、抑制栽培のデータは2003年と2004年の平均値

y) 2004/4/16～5/31の良果収量(果数) / 総良果収量(2004半促成 果数) × 100

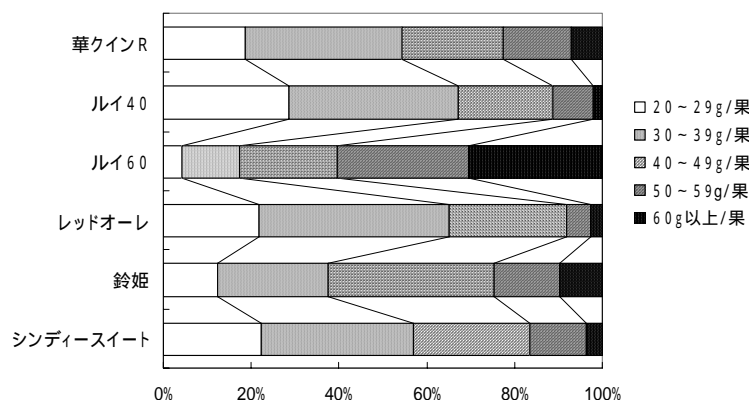


図1 1果重別の収量割合(果数)(2004年半促成)

表2 ミディトマト6品種の果実品質

品種	食味調査 ^{z)}		糖度(brix%)		酸度(%)	
	半促成 ^{y)}	抑制 ^{y)}	半促成	抑制	半促成	抑制
華クインR	3.2	3.3	7.2	7.2	0.80	0.71
ルイ40	2.4	3.1	6.2	6.9	0.85	0.66
ルイ60	3.1	2.5	6.9	5.9	0.89	0.66
レッドオーレ	3.2	2.8	7.9	6.9	0.89	0.67
鈴姫	2.8	2.8	7.5	6.6	0.89	0.67
シンディースイート	3.3	3.1	6.7	7.0	0.87	0.74

z) 総農試職員20名(半促成)及び15名(抑制)が5段階(悪い1～5 良い)で評価

y) 半促成栽培のデータは2004年、抑制栽培のデータは2003年と2004年の平均値

表3 耕種概要

作型	年次	播種日	定植日	収穫期間	施肥成分量(N - P ₂ O ₅ - K ₂ O)
半促成	2004	2004/1/6	2004/2/23	2004/4/16 ~ 2004/6/18	1.0 - 0.8 - 0.9 kg/a
抑制	2003	2003/7/23	2003/8/25	2003/10/8 ~ 2004/1/9	1.2 - 2.1 - 1.2 kg/a
	2004	2004/7/23	2004/8/23	2004/10/4 ~ 2004/12/29	各0.3 kg/a(土壌分析結果に基づき減肥)

作型共通 ・栽植密度:222株/a ・整枝方法:主枝1本仕立て(第6花房まで収穫)
・「華クインR」以外の5品種は自根栽培

[その他]

研究課題名: ミディトマトの品種特性

予算区分: 県単

研究期間: 2003～2004年度

研究担当者: 對木啓介、赤池一彦、五味亜矢子

発表論文等: なし